

**会津若松市の取組に関する市民意識調査
結果報告書
【 区長 】**

平成27年4月

会津若松市

～ 目 次 ～

I : 調査概要.....	1
(1) 調査の目的.....	2
(2) 調査対象.....	2
(3) 調査期間.....	2
(4) 調査方法.....	2
(5) 調査内容.....	2
(6) 回収状況.....	2
要 旨.....	3～4
II : 調査結果 (属性)	5
(1) 性別.....	6
(2) 年齢.....	6
(3) 世帯構成.....	7
(4) 同居の家族 (家族構成でひとり暮らし、未回答以外)	7
(5) 主な職業.....	7
(6) 通勤・通学先.....	8
(7) 居住地域 (小学校区)	8
(8) 本市にお住まいの期間 (通算の居住年数)	9
(9) 調査票回答 年齢別・地区別クロス集計.....	9
III : 調査結果 (設問)	11
◆ 健やかで思いやりのあるまちづくりの取組について (問 1～問 6)	12～14
◆ 豊かな心と個性を育むまちづくりの取組について伺います (問 7～問 13)	15～18
◆ 活力あるまちづくりの取組について伺います (問 14～問 30)	19～26
◆ 自然にやさしく安全で住みやすいまちづくりについて伺います (問 31～問 35)	27～29
◆ 快適で利便性の高いまちづくりについて伺います。(問 36～問 38)	30～31
◆ パートナーシップのまちづくりについて伺います。(問 39～問 43)	32～34
◆ 市政運営について伺います。(問 44～問 53)	35～41
◆ 市役所の庁舎について伺います。(問 54～問 57)	42～44
◆ スマートシティ会津若松について伺います。(問 58)	45
◆ 市の政策の満足度について伺います。(問 59～問 60)	46～56
IV : 自由記述回答一覧.....	57
◆ 問 5	58～68
◆ 問 15	69～79
◆ 問 19	80～88
◆ 問 22	89～98
◆ 問 30	99～107
◆ 問 38	108～117
◆ 問 41	118～122
◆ 問 48	123～130
◆ 問 53	131～135
◆ 問 55	136～145
◆ 問 58	146～151
◆ 自由意見.....	152～164
V : 参考資料 (調査票)	165

I : 調査概要

(1) 調査の目的

この調査は、現行の第6次会津若松市長期総合計画に基づく市の施策、取組について、市民の皆様のお考えや意見を聴取し、平成29年度を始期とする次期長期総合計画策定における基礎資料とすることを目的とします。

また、この調査を通じて、市民の皆様と、市の「地域活力の再生に向けた取組み」に位置づけた取組や様々な地域の課題に関する情報を共有することで、市政への市民参加の意識をより一層高めることを目指しています。

(2) 調査対象

会津若松市内504地区の区長

(3) 調査期間

平成26年9月29日（水）から平成26年10月20日（月）まで

(4) 調査方法

郵送による配布及び回収

(5) 調査内容

- 取組にかかる調査58項目（選択式47項目＋自由記述式11項目）
 - ・ 健やかで思いやりのあるまちづくりについて
 - ・ 豊かな心と個性を育むまちづくりについて
 - ・ 活力あるまちづくりについて
 - ・ 自然にやさしく安全で住みやすいまちづくりについて
 - ・ 快適で利便性の高いまちづくりについて
 - ・ パートナーシップのまちづくりについて
 - ・ 市政運営について
 - ・ 市役所の庁舎について
 - ・ スマートシティ会津若松について
- 基本施策にかかる満足度調査（選択式28項目＋優先3項目）
- フェイスシート
- 自由意見欄

(6) 回収状況

配布数	回収数	回収率
504	339	67.3%

1 回答者の属性

本調査の回答者は、区長の皆様に限定したことから、60歳代以上が82%を占めています。

こうした状況を反映してか、世帯構成を見ると、核家族の世帯の回答が73%を占め、また、居住年数については30年以上の回答が89%を占めています。

2 回答の傾向

回答全般を通して、概ね市の施策や取組の方向性については理解を得られており、そのほとんどについては積極的に進めるべきだとの意見が多く見られる結果となりました。

また、「孤立死防止等ネットワーク」、「あいづまちなかアートプロジェクト」、「会津若松医工連携推進プロジェクト」、「頑張るものづくり企業支援事業」、「市民協働推進指針」など比較的新規かつ先進的な施策や取組についての認知度が低く、地域活動の中核的役割を担う区長の皆様と市との情報共有を積極的に進めていかなければならないことが示されました。

3 テーマ別 回答の傾向

調査結果について、主なテーマごとの回答の傾向は次の通りです。

● 健やかで思いやりのあるまちづくりの取組について

子どもたちの医療体制の充実や学童保育など全般的に関心が高く、積極的に進めるべきだとの回答が多い結果となりました。

● 豊かな心と構成を育むまちづくりの取組について

ICTをはじめとする人材育成に関する取組については、積極的に進めるべきだとの回答が多い結果となりました。

また、スポンサー企業によるネーミングライツ制度については進めるべきとの回答が62%を占めました。

● 活力あるまちづくりの取組について

企業誘致や本市物産の販路拡大・消費拡大、再生エネルギーの利用などの取組は、積極的に進めるべきだとの回答が多いです。

また、地域を活性化するためには、観光誘客イベントの増加、大型商業施設の誘致、まちなみの整備などの「魅力づくり」に力を入れるべきと考える方が多く、地域産業を活性化するためには、企業誘致の促進や新産業の創出支援に取組むべきと回答した方が多い結果となりました。

● 自然にやさしく安全で住みやすいまちづくりについて

公用車への電気自動車の導入や再生可能エネルギーの利用促進等の取組については、東日本大震災の影響もあってか、感心が高い方が多いです。

また、災害時の避難の手伝いができるかとの問いには、81%の方が「手伝いができる」と回答しました。

● **快適で利便性の高いまちづくりについて**

除雪の費用については「妥当だと思う」との回答が37%、「更に充実すべき」が25%、「高い」が20%と意見が分かれる結果となりました。

除雪計画については、「十分な対策がとられていない」との意見が34%で最も多く、また、地域との事前協議の必要性や情報提供不足をあげる声が多くあげられました。

● **パートナーシップのまちづくりについて**

地域が困ったときに助け合える関係にあると考える方が54%を占める結果となりました。

「市民協働推進指針」については77%の方が「知らない」と回答したものの、大半の方が地域住民が自ら課題解決に向けた活動を行い、市がその活動を積極的に支援すべきと考えていることがわかりました。

● **市政運営について**

公共施設の維持管理費については半数以上の方が高額だと感じていて、より合理的な利用を進めるべきだと考えています。

● **市役所の庁舎について**

新庁舎の建設は、「進めるべき」と回答した方が50%と半数となり、「進めないべき」の29%を上回る結果となりました。また、自由意見も多く寄せられ、関心の高さが表れています。

● **スマートシティ会津若松について**

スマートシティの取組については、比較的関心の高さが見てとれる一方、スマートシティの概念自体は正確に浸透していないことがうかがえます。

このことから、引き続き、スマートシティの取組についての理解が深まるよう、市民の皆様へわかりやすく、丁寧に説明していく必要があることがわかりました。

● **市の政策の満足度について**

各種政策の満足度については、全体的に「普通」との回答が多く、次に「やや不満」が多く、満足度が高いとは言えない結果となりました。

また、市が重点的に取り組むべき施策について聞いたところ、「子育てしやすいまちをつくる」、「雇用を安定的に確保し労働福祉が充実したまちをつくる」、「雪に強いまちをつくる」、「高齢者が元気にくらせるまちをつくる」、「安全で安心できるまちをつくる」といった取組が求められていることがわかりました。

Ⅱ：調査結果（属性）